2020 年度　部局 FD 活動報告

人間社会システム科学研究科

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要

・人間社会システム科学研究科教育運営委員が主体となり、当該研究科全体の FD 活動を実施している。
・授業内容に関するアンケート(通称・大学院アンケート)、修了予定者アンケートを実施し，その結果を研究科教育運営委員会で共有し、FD 活動を促進している。
・大人数の授業について授業ふり返りを実施した。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2021 年 3 月 9 日	2020 年度キャンパス・ハラスメント調査報告（第 1 回人間社会システム科学研究科 FD 会議）	ハラスメント調査報告会	73

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
研究科教育運営委員会	FD 関連事項の有無は開催月の状況による	9	10

4.　FD 活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	5 人　／　5 人中

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	1	5	単なるピア「参観」にとどまらず，複数教員が授業計画作成，運営，実施後の意見交換など綿密に実施している（科目によっては専攻横断的に実施）．この他，他の教員の授業を随時参観している．また「人間社会学特別演習Ⅰ」，「人間社会学特別演習Ⅱ」，「現代システム科学特別演習 2」では院生による研究報告としての全体発表会が実施され，専攻の教員が参加し，他の教員と経験交流の機会を持った．
後期	1	5	
年度 合計	2	10	

6. その他取り組みの具体的実施状況
1. 授業内容に関するアンケート（自由記述方式）を全分野で実施し，結果を教育運営委員で共有した(定例教育運営委員会での書面での報告による)．また，授業担当者にアンケートの内容を伝えた． 2. 修了生アンケートを実施し，そこから意見要望を抽出し，研究科としての対応を研究科長に求めた(2019 年度は、修了生アンケートの質問項目の見直し、研究科内での共通化を図った.修了生アンケートの元となるアンケート形式は、現シス専攻で従来より実施していたものを参考とした)．そのなかで各専攻において対応すべき点は，各専攻主任の責任において対応することにした（現シス専攻）． 3. 専攻横断的授業に関して，授業担当者任せでなく教育運営委員会課題として調整した． 4. 修士論文を執筆する院生の便益を図るべく，修士論文関連書式のアップデートを各分野の教育運営委員が行い，改訂された書式(フォーム)を研究科サイトにアップした。 5. 修士論文提出時の新型コロナ感染対策として対面作業を削減するためにオンラインによる申請方法を議論し、整備した。 6. 博士前期課程 1 年生による研究進捗状況のポスター発表会を新型コロナ感染対策として、オンライン開催方法を教育運営委員によるメール審議で議論を重ね開催し、反省点をメールで集約し、オンラインポスター発表の長所短所をまとめた（現シス専攻）。